

2020年(令和2年)4月7日 火曜日



地元産レンコンを使った新商品

「増え続ける遊休農地を活用し、地域と、阿南町新野の住石平輝きの会(金田三千男会長)は2016年からレンコン作りに取り組んでいた。このほど、栽培したレンコンを使った初の商品「新野れんこん餃子」「新野れんこん饅頭」が完成。

金田会長(80)が社長を務める道の駅「信州新野千石平」のリニューアルオーブンに合わせ、販売を開始した。

愛知県田原市の道の

駅「田原めっくんはうす」との交流事業の一環としてスタート。同市から提供を受けた種レンコンを元に、少しずつ栽培面積を拡大。約13ア

のほ場で始めたが、現在は60アマほどにまで広げた。

金田社長は「良い商品ができた。評判も上々」と笑顔。「ド

「新野産レンコンで新たな名物をつくりたい」という金田会長の思いに賛同し、新野地区で新たに企業との共同開発により、約1年

の構想期間を経て、新野れんこん栽培は、レンコン関連の収

「増え続ける遊休農地を活用し、地域と、阿南町新野の住石平輝きの会(金田三千男会長)は2016年からレンコン作りに取り組んでいた。このほど、栽培したレンコンを使った初の商品「新野れんこん餃子」「新野れんこん饅頭」が完成。

駅「田原めっくんはうす」との交流事業の一環としてスター

ト。同市から提供を受けた種レンコンを元に、少しずつ栽培面積を拡大。約13ア

のほ場で始めたが、

現在は60アマほどにま

で広げた。

金田社長は「良い

商品ができた。評判

も上々」と笑顔。「ド

ジョウやカモがたく

さん泳ぐほ場でつく

る、安心安全、おい

しいレンコン。新野

の新的な名物として

育てていきたい」と

力を込めた。

レンコン関連の収

阿南町

# 新野産レンコン初の商品化

## 地区の新名物へ商品化

益は、子どもたちを迎えるための事業に活用する計画だ。